

舞鶴市近代化遺産 保存センターNEWS

第4号

令和8年8月号
(毎月15日発行)

近代化遺産とは

幕末から第二次世界大戦期までに、当時の最新技術でつくられた、日本の近代化に貢献した建物やインフラなどの遺産です。近代化遺産保存センターでは、私たちのまち舞鶴の礎を築いたこれらの近代化遺産を大切に次世代に継承していきたいと考えています。

今月の『近代化遺産保存センターNEWS』は、舞鶴市三浜にある「旧舞鶴市立丸山小学校」をご紹介します。「知り合いに卒業生がいるよ!」という方だけでなく、丸山小学校卒業生が企画・開催したイベント「竜宮マルシェ」を通じて訪れた方もいらっしゃるのではないのでしょうか?



竜宮マルシェの様様

旧舞鶴市立丸山小学校

木造校舎で訪ねる、あの頃の夏休み

丸山小学校の前身は明治9(1887)年に開設された「三浜校」に遡ります。このときは三浜海蔵寺の一部を校舎に充てていました。明治24年に現在の地に移転し、昭和17年に校舎を改築。戦後、昭和25年に2階建ての木造校舎に増改築し、今の校舎の姿になりました。



校舎の外観

その後、丸山小学校は平成10(1998)年に大浦小学校に統合され、122年の歴史に幕を下ろしました。明治・大正・昭和・平成の激動の時代の中、延べ1200名あまりの卒業生を送り出し、地域の教育と文化の発展を支えました。現存する校舎の一部には、戦前の校舎がそのまま引き継がれています。市内に現存する戦前の木造校舎は旧丸山小学校が唯一のもので、近代化の時代を教育の面から支えた遺産として貴重です。木造の温かみのある校舎はどこか懐かしい雰囲気、『男たちの大和』など、映画のロケにも利用されました。



職員室前の廊下 廊下の中央に白線が引かれています。



ロケ撮影に使用された教室

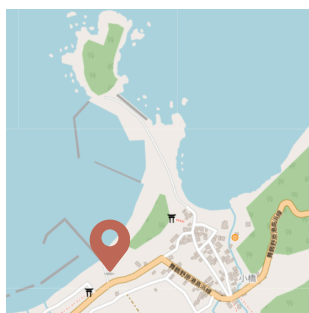


2階への階段 2階には3～6年生の教室がありました。



舞鶴市字三浜 676-1

フェンス越しではありますが外観をご覧いただけます。
竜宮浜海水浴場と一緒にいかがでしょうか?



舞鶴赤れんがパークには明治時代から大正時代に旧海軍が建てたれんが造りの倉庫8棟が残り、国の重要文化財に指定されています。舞鶴市では令和7年度から貴重な近代化遺産を将来に大切に受け継いでいくため、6号棟の保存修理工事に着手しました。

重要文化財を未来に引き継ぐ

赤れんが 6号棟 保存修理工事のこと

赤れんが6号棟の
正式名称のことなんですけど

まいづる かいぐん じゅひんこ じゅひんこ
舞鶴海軍需品庫需品庫 ですね

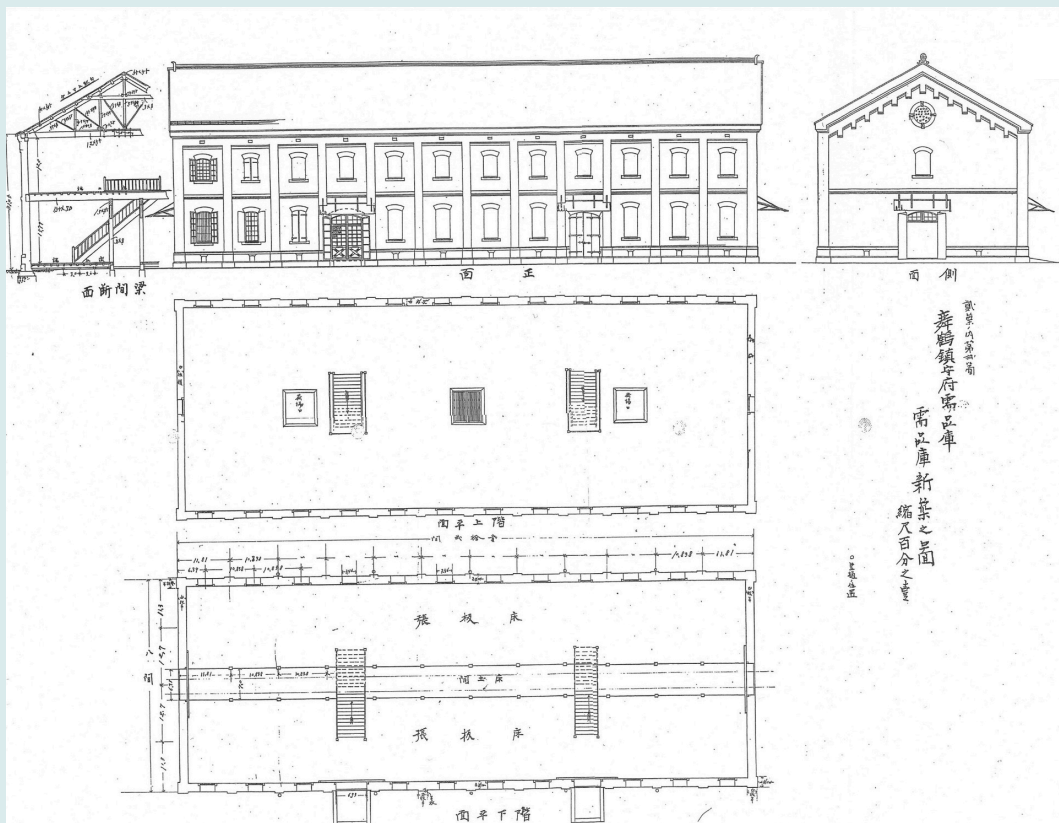
同じこと2回言ってませんか？

それではこちらをご覧ください

実はこの建物を明治時代に建てた時の仕様書にも「需品庫需品庫」と記載されています。決して誤字ではないのです。ややこしい話ですが、海軍内には「需品庫」という部署が存在し、その需品を保管する倉庫「需品庫」という意味の名称だったのです。

海軍の「需品庫」という部署は何をするところだったのでしょうか。海軍需品庫条例によると「需品庫は艦営需品の準備保存及び供給を掌る」とあります。つまり、艦艇に積み込む補給物資を扱う部署ということです。この6号棟にも、様々な物資が保管されていたことでしょう。

その後、6号棟は大正13年に「第二水雷庫」に用途変更され、文字通り「水雷」を保管する倉庫として使用されて終戦を迎えました。



舞鶴鎮守府需品庫需品庫三棟新築仕様書

舞鶴鎮守府需品庫需品庫三棟新築仕様書

今月の「近代化遺産センターNEWS」はいかがでしたか？
ぜひQRコードから、あなたの「知りたい」や「見たい」を
お聞かせください。舞鶴市近代化遺産保存センター TEL: 0773-68-9236
kindaikaisan@city.maizuru.jp

